

広報 うんなん

春号
3

2015 vol.36
平成27年3月15日発行



「雲南の地酒で乾杯を推進する条例」制定記念

雲南広域連合では昨年8月29日に「雲南の地酒で乾杯を推進する条例」を制定し、この条例制定記念イベントを先般2月14日に開催しました。

雲南地域は「八岐大蛇退治」に登場する「八塩折の酒」やしおおり伝承の地であり、上質な水と県内の酒米の8割を生産する良質米の産地でもあります。

この条例制定を契機に雲南の地酒を圏域内外に広く知らしめ、地酒の普及を通じた地域文化の理解促進と地域経済の活性化を図ります。

CONTENTS

平成26年12月定例議会報告	2
雲南広域連合議会構成表	3
広域連合長所信表明	4~5
平成27年2月定例議会報告	6~7
平成27年度雲南広域連合当初予算の概要	
一般会計	8
介護保険特別会計	9
環境衛生特別会計・下水道事業特別会計	10
雲南クリーンセンターの施設更新について	11
第18回島根ふるさとフェア2015・モニターツアー	12
介護保険情報コーナー	13~15
火災・救急・救助統計	16
たき火火災防止月間・三刀屋保育所 幼年消防クラブ防火の誓い 普通救急講習についてのお知らせ	17
地震が発生したら	18
なにか変! 平成27年度消防関係試験日程表	19
イベント情報(3月~6月)	20~21

議会報告

平成26年 雲南広域連合議会12月定例会

平成26年12月24日、平成26年雲南広域連合議会12月定例会を開催しました。今回の議会には次の議案を提出し、原案通り可決されました。



雲南広域連合議会 藤原 信宏 議長

《承認された事項》

○平成26年度雲南広域連合一般会計補正予算(第2号)

広島市豪雨災害により被災した、広島文教女子大学への災害見舞金

《議決された事項》

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に基づき、職員の給与表及び期末勤勉手当を改正しました。

○平成26年度雲南広域連合一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ34,169千円を増額し、歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ1,503,463千円となりました。

主な内容

- ・給与改定に伴う人件費
- ・ふるさと市町村圏基金積立
- ・財政調整基金積立
- ・うなん観光ネットワーク協議会負担金

○平成26年度雲南広域連合介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,538千円を増額し、歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ7,902,962千円となりました。

主な内容

- ・地域支援事業(任意事業)
- 認知症初期集中支援推進事業

雲南市議会の構成替えに伴う雲南広域連合議会の構成替えがありました。
新たな構成については、次のとおりです。

雲南広域連合議会構成表

(H26.12.24)

役 職 名	氏 名	市 町 名	
議 長	藤 原 信 宏	雲 南 市	
副 議 長	難 波 俊 司	飯 南 町	
総 務 常 任 委 員 会 (7名)	委 員 長	松 崎 正 芳	奥 出 雲 町
	副 委 員 長	白 築 俊 幸	雲 南 市
	委 員	細 田 実	雲 南 市
	委 員	小 林 眞 二	雲 南 市
	委 員	村 尾 明 利	奥 出 雲 町
	委 員	難 波 俊 司	飯 南 町
	委 員	小 野 覚	飯 南 町
厚 生 常 任 委 員 会 (7名)	委 員 長	永 井 章	飯 南 町
	副 委 員 長	塔 村 俊 介	奥 出 雲 町
	委 員	原 祐 二	雲 南 市
	委 員	周 藤 強	雲 南 市
	委 員	深 田 徳 夫	雲 南 市
	委 員	藤 原 信 宏	雲 南 市
	委 員	景 山 孝 志	奥 出 雲 町
議 会 運 営 委 員 会 (6名)	委 員 長	細 田 実	雲 南 市
	副 委 員 長	永 井 章	飯 南 町
	委 員	深 田 徳 夫	雲 南 市
	委 員	村 尾 明 利	奥 出 雲 町
	委 員	景 山 孝 志	奥 出 雲 町
	委 員	難 波 俊 司	飯 南 町
監 査 委 員 (議会選出)	景 山 孝 志	奥 出 雲 町	

平成27年2月定例議会

広域連合長所信表明

1、地域振興事業

先般1月17日、18日の両日にわたり、「第18回島根ふるさとフェア」が広島市で開催されました。

好天にも恵まれ17万人の来場者を記録したところであり、今回、雲南ブースでは、「雲南の地酒で乾杯を推進する条例」の制定を記念し、雲南の地酒による鏡開きを行い、4回にわたり地酒を振舞ながら雲南の観光、物産等の情報発信を行いました。また、飯南神楽同好会の皆様のほか、24団体の出店、その他たくさんの方々にも盛り上げていただきました。

来る、3月22日には、いよいよ中国横断自動車道尾道松江線が全面開通することから、山陽四国方面に「近くなった雲南」の観光・物産情報発信をうなん観光ネットワーク協議会の構成団体と連携し積極的に取り組んでまいります。併せて、「観光コーディネート」による雲南圏域の観光・誘客事業や「雲南の地酒で乾杯」による地域振興等を「層強力」に、推し進めて参ります。

平成27年雲南広域連合議会2月定

例会にあたり、速水広域連合長は、

平成27年度予算をはじめ、広域連合運営に関する基本的な考え方と、主要施策について、所信の一端を述べました。

2、介護保険事業

平成27年度から29年度における「第6期介護保険事業計画」について、昨年、7月の諮問から5回に亘る介護保険事業計画審議会において審議を重ね、先般、答申をいただいたところです。

第6期事業計画においては、医療や介護、生活支援や予防などの様々なサービスを一体的に提供していく「地域包括ケアシステム」の実現に向けての取組みを進展させていくことが基本となります。「高齢者がいつまでも自分らしく幸せな生活を続けられる地域」を基本理念に、地域包括ケアシステムの構築に向け「在宅医療・介護連携の推進」、「認知症施策の推進」、「地域ケア会議の推進」と「生活支援サービスの充実・強化」を重点施策とし計画に位置付けたところです。

介護保険料算定にあたっては、制度改正により第1号被保険者保険料の財源負担割合が21%から22%に引き上げられますが、介護給付費準備基金を活用し極力保険料の上昇を抑制するように努め基準月額保険料5,400円と設定したところです。なお、審議会の答申では、介護職員の不足によりサービス提供に影響が出ないよう介護職員の確保対策に一層努力するよう付帯意見を頂き、新年度早々に対策会議を立ち上げることとしております。

3、消防業務

平成24年度から整備をすすめておりました「消防救急デジタル無線」の整備が3月完了することにより、県下消防本部が無線ネットワークで接続され、広域的な災害により迅速な対応できる通信体制が整い、雲南地域の安心・安全に一層の力を発揮できるものと期待しております。

新年度からは、県庁と市町村及び消防本部等を結ぶ防災

関係機関専用の地上系及び衛星系通信施設の「島根県防災情報ネットワークシステム」の更新・整備事業が島根県により2カ年にわたり整備が予定されており、消防本部としても事業負担を予定しております。

4、環境衛生業務

近年、下水道の普及により、し尿の処理量は減少傾向にあるものの、合併浄化槽、農業集落排水汚泥も処理することから、雲南クリーンセンターの稼働率は100%を超える状況であります。施設は、更新時期を迎え、修繕箇所も多くなっておりますが、引き続き、経費削減を図りながら安定的な運営に努めてまいります。

5、下水道事業

汚泥共同処理施設整備事業について、本年度から、詳細設計並びに本体工事について、平成28年度までの3カ年分の事業として日本下水道事業団へ建設工事委託の基本協定の締結を行いました。これを受けて日本下水道事業団では、工事入札を12月実施されましたが、不発となりました。この原因については、特殊機器の単価並びに昨今の、円安等により労務費、建設資材単価の高騰が大きく影響していると推測されます。

今後の対応について、日本下水道事業団からは、3月上旬に入札者との随意契約による契約締結をすすめる旨の報告を受けております。

基本協定に基づく工事委託内容が、予定どおり進捗するよう鋭意努めてまいります。

議 会 報 告

平成27年 雲南広域連合議会2月定例会

平成27年2月23日、平成27年雲南広域連合議会2月定例会を開催しました。今回の議会には次の議案を提出し、原案通り可決されました。



《議決された事項》

○雲南広域連合行政手続条例の一部を改正する条例

行政手続法の改正に伴い、所要の改正をしました。

○雲南広域連合情報公開条例の一部を改正する条例

独立行政法人通則法の改正に伴い、所要の改正をしました。

○職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告等給与制度の総合的見直しに基づき、職員の給料表等の改正をしました。

○職員の給与の特例に関する条例の制定

構成市町の厳しい財政事情に鑑み引き続き給与の減額(0.5~2.0%)を行うため、所要の改正をしました。

○職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

救急業務の特殊性を考慮し、救急出場手当を追加しました。

○雲南広域連合介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法等の改正及び第6期介護保険事業計画策定に伴う保険料の改定のため、所要の改正をしました。(15ページ参照)

○雲南消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例

尾道松江線全線開通に伴い、管内交通事情の変化及び現場到着時間の短縮により、管轄区域の見直しをしました。

○消防救急無線広域共同整備事業の受委託に関する契約の変更

島根県との委託金額及び委託期間の変更に伴い契約の変更をしました。

○平成26年度雲南広域連合一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,351千円を減額し、歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ1,502,112千円となりました。

主な内容

- ・派遣職員人件費負担金
- ・消防施設費
- ・公債費
- ・繰越明許費(事務所移転事業の内、光ケーブル埋設工事)

○平成26年度雲南広域連合介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ210,356千円を減額し、歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ7,692,606千円となりました。

主な内容

- ・派遣職員人件費負担金
- ・保険給付費の減
- ・制度改正による介護システム改修費

○平成26年度雲南広域連合下水道事業特別会計補正予算(第3号)

汚泥共同処理施設整備事業費77,220千円の内、74,000千円を繰越明許しました。

○平成27年度雲南広域連合一般会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ1,216,731千円と決めました。

(詳細は8ページ)

○平成27年度雲南広域連合介護保険特別会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ7,712,785千円と決めました。

(詳細は9ページ)

○平成27年度雲南広域連合環境衛生特別会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ141,721千円と決めました。

(詳細は10ページ)

○平成27年度雲南広域連合下水道事業特別会計予算

歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ796,191千円と決めました。

(詳細は10ページ)

平成27年度 雲南広域連合当初予算の概要

一般会計

当初予算は1,216,731千円です。主なものとして、地域振興に係る経費(企画費)と消防費があります。

【歳入】 主なものとして構成市町負担金1,193,163千円があります。

【歳出】

○企画費(16,027千円)の主な使いみち

・企画事業管理費……………8,621千円

【雲南地域の観光に向けた取り組み】

うなん観光ネットワーク協議会を中心とした観光情報の発信・観光客の誘致を図っていきます。

・イメージづくり事業……………4,107千円

【各種媒体の活用】

広島市において情報誌や広告、観光マップの作成など様々な媒体を活用し、雲南地域の情報を発信していきます。

【島根ふるさとフェア】

広島市で開催するこのフェアで雲南地域の魅力を発信するブースを設け、雲南地域PRコーナーなど観光情報発信のためのブース運営を行います。

○消防費(986,028千円)の主な使いみち

・常備消防費……………944,149千円

【職員人件費】

職員給与、手当、共済費等です。

【火災・救急・救助出動等への対応】

燃料・消耗品・資機材等の整備、緊急車両年間整備費等の諸経費です。

・消防施設費……………41,879千円

【高規格救急自動車整備事業】

平成11年に配備した飯南署の高規格救急自動車が、走行距離20万キロを超えたため、車両更新計画に基づき更新をするものです。

【島根県防災情報ネットワークシステム再整備事業】

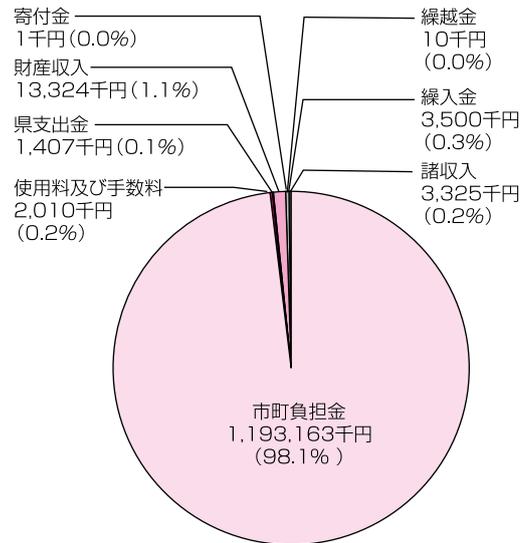
島根県が運用する災害時の情報通信施設を更新・整備する事業の負担金です。

【消防庁舎整備事業】

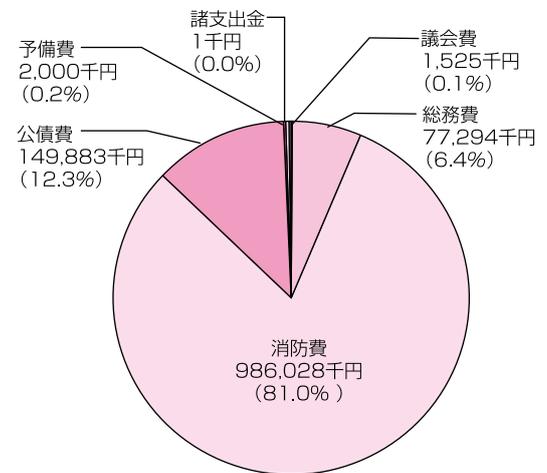
消防庁舎及び施設の老朽化により整備計画に基づいた改修整備を行います。

平成27年度一般会計予算

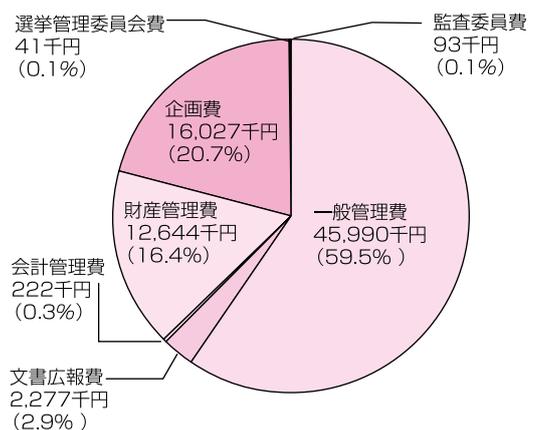
【歳入】



【歳出】



【総務費の内訳】



介護保険特別会計

当初予算額は7,712,785千円で、前年度当初予算と比べて115,818千円(対前年度比約1.5%)の減額となりました。

○前年度と比べて減額となった主な理由

第6期介護保険事業計画に基づき介護サービス利用量を見込み、平成27年度介護報酬改定(マイナス2.27%)により費用が減額となったため。

○主な使いみち

・保険給付費……………7,297,117千円

要支援・要介護者が居宅サービスや施設サービスを利用したときにかかる費用のうち、本人が負担する部分(1割または2割)を除いた費用部分(9割または8割)のことで、雲南広域連合が負担する費用です。

・地域支援事業費……………227,570千円

地域支援事業を実施するための費用です。

・総務管理費……………118,428千円

介護システムの維持管理にかかる費用や人件費などの費用です。

・徴収費……………3,668千円

保険料の賦課徴収や滞納処分を行うための費用です。

・介護認定審査会費……………39,121千円

認定調査、主治医意見書作成、認定審査会実施のための費用です。

・趣旨普及費……………2,837千円

介護保険制度の仕組みやサービスの利用促進などを広報等でお知らせするための費用です。

・事業計画審議会……………691千円

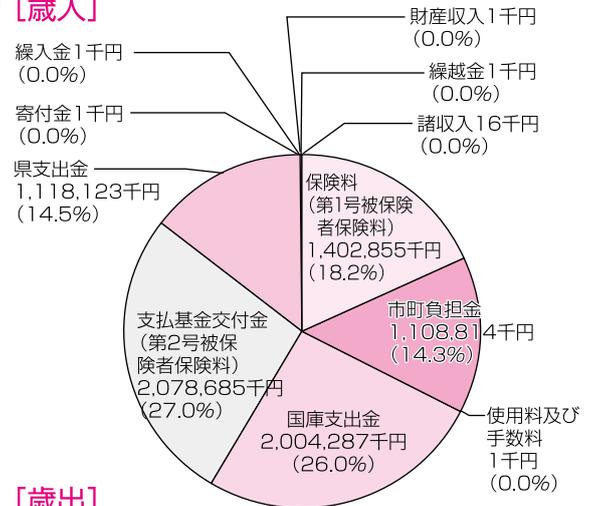
事業計画審議会、運営協議会及び運営委員会実施のための費用です。

※地域支援事業とは

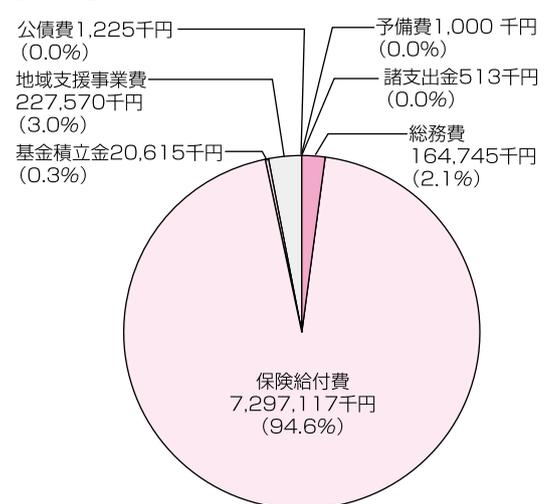
要支援認定や要介護を受けていない、地域の全ての高齢者を対象に、要介護・要支援状態になることを予防したり、要介護・要支援状態になった場合でも、できる限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する事業です。

平成27年度介護保険特別会計予算

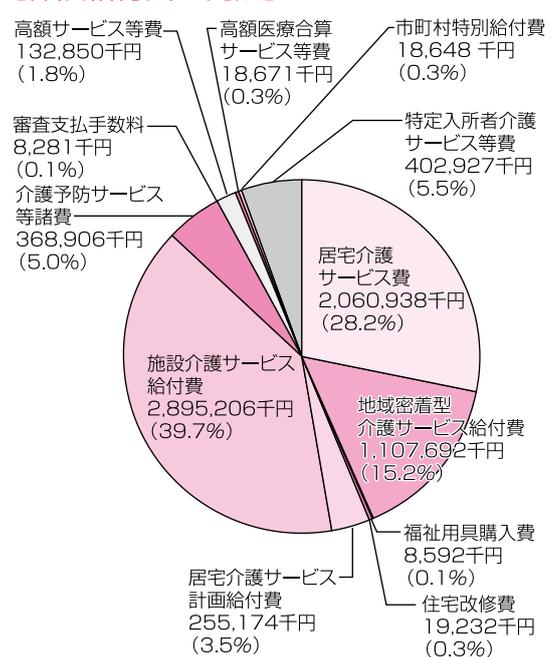
【歳入】



【歳出】



【保険給付費の内訳】



環境衛生特別会計

当初予算額は、141,721千円で、前年度当初予算額と比べて、6,197千円(△4.2%)の減額となりました。

○主な使いみち

一般管理費

雲南クリーンセンター施設の維持管理費、職員の人件費です。

し尿処理費

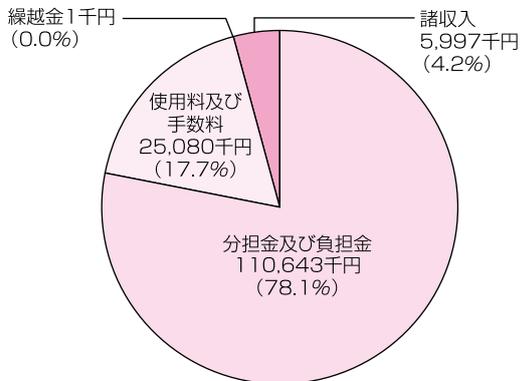
雲南地域(松江市宍道町を含む)から搬入されるし尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥を処理する費用です。

公債費

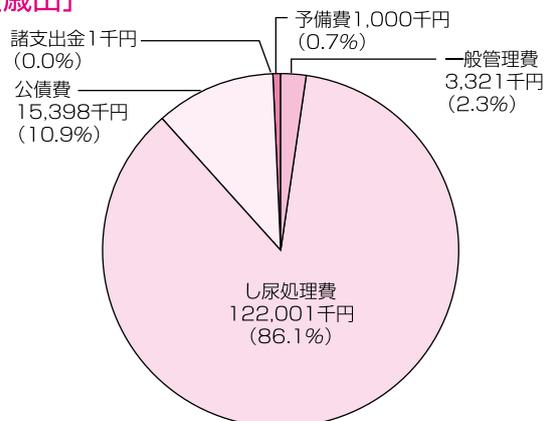
過去に借り入れた地方債の返済に要する費用です。

平成27年度環境衛生特別会計予算

[歳入]



[歳出]



下水道事業特別会計

当初予算額は、796,191千円で、前年度当初予算額と比べて、736,864千円(92.5%)の増額となりました。

○主な使いみち

汚泥共同処理施設整備事業費

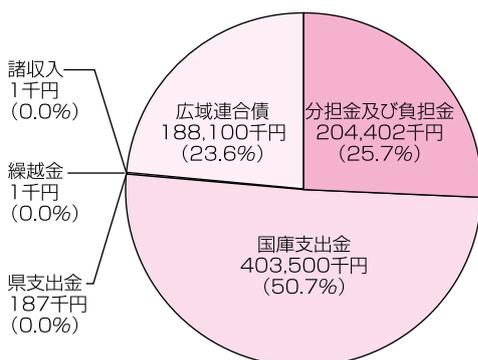
雲南地域のし尿、下水道汚泥をまとめて処理する汚泥共同処理施設を新たに整備する費用です。

公債費

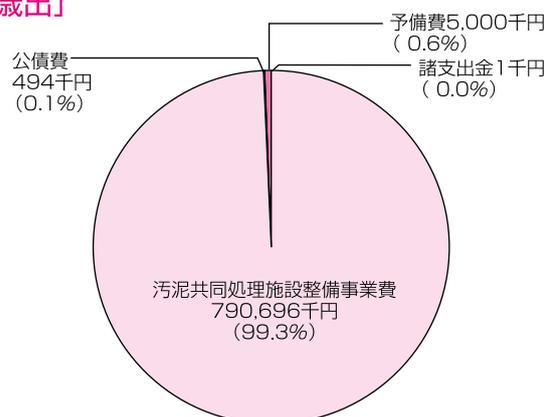
前年度に借り入れた地方債の利子分です。

平成27年度下水道特別会計予算

[歳入]



[歳出]



雲南クリーンセンターの施設更新について

～肥料販売の終了～

平成2年度に整備したし尿処理場「雲南クリーンセンター」（雲南市木次町里方）の施設更新をいたします。平成28年度の完成を目指しています。生活排水処理の広域化、共同化の推進により、効率的な処理、費用の削減に努めます。

し尿処理施設から下水道汚泥共同処理施設へ

現在、雲南クリーンセンターは雲南市、奥出雲町、飯南町全域のし尿、浄化槽汚泥の共同処理施設として設置運営し、農業集落排水汚泥についても併せて処理しています。

近年、雲南圏域では、下水道の普及によりし尿の量は年々減少し、かわって下水道汚泥の発生量は増えています。

そこで、下水道汚泥を主に、併せてし尿、浄化槽汚泥、農業集落排水汚泥を一体的に処理する「下水処理場・汚泥共同処理施設」として雲南クリーンセンターを整備します。

処理能力は、現在の1.6倍の144m³/日となります。

雲南市下水処理場との機能分担

下水処理場の処理は、水処理と汚泥処理に大別されます。

雲南広域連合が計画する汚泥共同処理施設では、し尿汚泥の脱水処理のみを行い、水処理は隣接する雲南市の下水処理場「木次三刀屋浄化センター」へ排水し、処理してもらうことにしています。このような機能の分担により、雲南広域連合では水処理機能が必要なくなりました。

肥料「ゆうき雲南」の販売終了

今回の施設整備のため、現在稼働中の堆肥製造設備を撤去します。

長年にわたり、ご愛顧いただきました汚泥発酵肥料「ゆうき雲南」の製造について、今年5月末をもって終了といたします。販売につきましては、在庫がなくなり次第、終了とさせていただきます。

第18回

島根ふるさとフェア

2015



飯南神楽同好会

1月17日(土)18日(日)に開催された島根ふるさとフェア2015に参加しました。このフェアは島根の魅力を広島県の方へ発信し、両県の一層の交流を図る目的で行っています。

島根のおいしい物を味わえ、神楽などの郷土芸能を楽しめるフェアとあって2日間で17万1千人の方に来場いただきました。

雲南地域からは屋内へ18業者、屋外へ9業者が出展し雲南の魅力を発信しました。

モニターツアー

地域連携協定を結んでいる広島文教女子大学の学生と外国人講師によるモニターツアーを実施しました。

11月15日(土)16日(日)には学生11名が雲南市～飯南町を巡り、若い女性にはパワースポットに魅かれる傾向があるが雲南地域には魅力的なパワースポットが多いのでそこをもっとPRしてはなどの意見をいただきました。

また、1月31日(土)～2月1日(日)には外国人講師4名が雲南地域を巡りそば打ち、しめなわ作りなどの体験をしながら外国人観光客受け入れのためのモニターツアーを行いました。

参加者からはとても魅力ある体験だが、パンフレットの外国語対応など今後の課題も挙げられました。



学生によるモニターツアー



外国人講師によるモニターツアー

介護保険情報コーナー



雲南地域第6期介護保険事業計画策定に係る答申について

2月12日、第6期介護保険事業計画（平成27年度～平成29年度）について、雲南広域連合介護保険事業計画審議会山本重明副会長から速水広域連合長に答申が行われました。

同審議会では、5回の審議を行い、第6期中3年間の介護保険施策の推進や第1号被保険者の保険料などについてまとめました。

雲南広域連合では、この答申を踏まえ雲南地域第6期介護保険事業計画を策定しました。



雲南広域連合介護保険事業計画審議会山本重明副会長から速水広域連合長に答申書が手渡されました。

《介護保険事業計画の概要》

○計画の期間

平成27年度から平成29年度までの3年間

（団塊の世代が75歳以上となる平成37年度を見据えた計画としました。）

○計画の基本理念

「高齢者がいつまでも自分らしく幸せな生活を続けられる地域」

○重点施策

①地域包括ケアシステムの構築

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、保健、医療、福祉等の多職種協働による支援、生活のための地域資源の活用、また、地域での「自助」「互助」「共助」「公助」が連携して機能する体制づくりを図ります。

②認知症施策の推進

認知症に対する理解はまだまだ十分とは言えず、早期発見を遅らせたり、認知症になった人の地域での生活を阻害するなど、人間の尊厳にかかわる問題も生み出しています。地域包括ケアシステムの構築においても最も強化すべき課題と言え、適切な支援や社会資源の整備を行います。

③介護予防の推進

平成29年4月からは、予防給付の内の「介護予防訪問介護」と「介護予防通所介護」を地域支援事業へと移行し、介護予防に注目した多彩な事業を展開します。

④継続可能な介護保険制度の運営

介護保険制度の持続可能性を高めるために、低所得者の保険料の軽減や給付の重点化・効率化を図ります。



将来推計

①人口及び被保険者数の推計

(人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成37年度
総人口	59,579	58,675	57,760	49,737
40歳未満	19,538	19,033	18,521	14,291
40～64歳	18,153	17,669	17,260	14,046
65歳以上	21,888	21,972	21,979	21,400
高齢化率	36.7%	37.4%	38.1%	43.0%

②要介護(要支援)認定者数の推計

(人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成37年度
要支援	1,077	1,169	1,200	1,360
要介護	3,236	3,258	3,342	3,786
合計	4,313	4,427	4,542	5,146

③介護サービス基盤整備

■雲南市

サービスの種類	開設時期	定員	備考
訪問介護	H27年度	—	(住宅型有料老人ホーム併設)
訪問看護	H27年度	—	(住宅型有料老人ホーム併設)
訪問看護	H27年度	—	
訪問看護	H27年度	—	
居宅介護支援	H27年度	—	(住宅型有料老人ホーム併設)
認知症対応型共同生活介護	H28年度	18名	
小規模多機能型居宅介護	H28年度	25名	

■奥出雲町

サービスの種類	開設時期	定員	備考
介護老人福祉施設	H27年度	2名	
小規模多機能型居宅介護	H28年度	29名	認知症対応型通所介護(定員12名)からの転換含む

④給付費の推計

(千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成37年度
介護予防給付費	343,852	366,168	316,129	287,676
介護給付費	6,272,207	6,372,265	6,491,099	7,402,856
総給付費	6,616,059	6,738,433	6,807,228	7,690,532



介

護

保 険 料 基 準 額

第1号被保険者の介護保険料 基準額(月額)	第6期	平成37年度(参考)
	5,400円	7,720円

※平成37年度については、平成27年度現在の制度及び介護報酬、また、準備基金等の取崩しが無いものとして試算しています。

所 得 段 階

雲南広域連合 第6期(H27~H29)

所得段階	対 象	第5段階 (基準額)に 対する割合	月 額 保 険 料
第1段階	生活保護を受給している方 本人及び世帯全員が住民税非課税で、老齢福祉年金を受給している方 本人及び世帯全員が住民税非課税で、本人の前年の合計所得金額+課税 年金収入額が80万円以下の方	0.47	2,540円
第2段階	本人及び世帯全員が住民税非課税で、本人の前年の合計所得金額+課税 年金収入額が80万円超120万円以下の方	0.71	3,840円
第3段階	本人及び世帯全員が住民税非課税で、本人の前年の合計所得金額+課税 年金収入額が120万円を超える方	0.75	4,050円
第4段階	本人が住民税非課税で、本人の前年の合計所得金額+課税年金収入が 80万円以下の方	0.9	4,860円
第5段階	本人が住民税非課税で、本人の前年の合計所得金額+課税年金収入が 80万円を超える方	1.0	5,400円
第6段階	本人が住民税課税で、本人の前年の合計所得金額が120万円未満の方	1.125	6,080円
第7段階	本人が住民税課税で、本人の前年の合計所得金額が120万円以上190 万円未満の方	1.25	6,750円
第8段階	本人が住民税課税で、本人の前年の合計所得金額が190万円以上290 万円未満の方	1.5	8,100円
第9段階	本人が住民税課税で、本人の前年の合計所得金額が290万円以上500 万円未満の方	1.75	9,450円
第10段階	本人が住民税課税で、本人の前年の合計所得金額が500万円以上の方	2.0	10,800円

※第1段階については、下記の保険料額から、政令に規定される公費による保険料軽減を行います。

○低所得の人が施設を利用した場合の食費・居住費の負担限度額(介護保険負担限度額認定証)

平成27年4月1日から多床室の負担限度額が変わります

320円→370円

※第2段階及び第3段階の認定を受けた方のみ

平成27年度の報酬改定により、本年4月から多床室の負担限度額が改定される予定です。(第1段階の方は変更ありません。)

現在お持ちの『介護保険負担限度額認定証』の記載を、「多床室 320円」→「多床室 370円」と読み替えて取り扱いますので、有効期限までは引き続きお使いいただけます。

火災・救急・救助統計

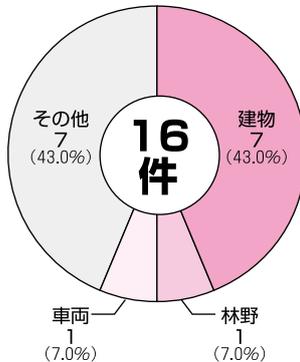
出動件数

平成26年1月1日
～12月31日

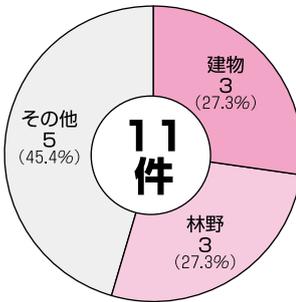
火災出動

35件 平成25年 49件

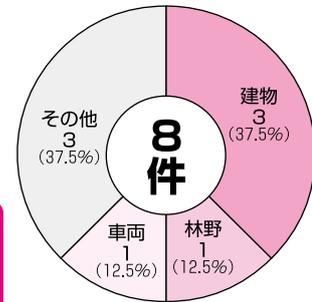
雲南市



奥出雲町



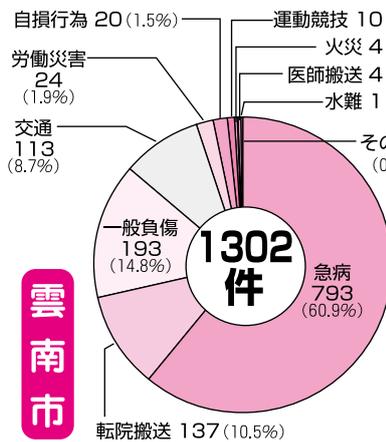
飯南町



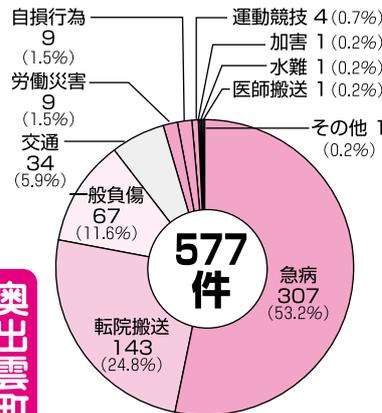
救急出場

2149件 平成25年 2233件

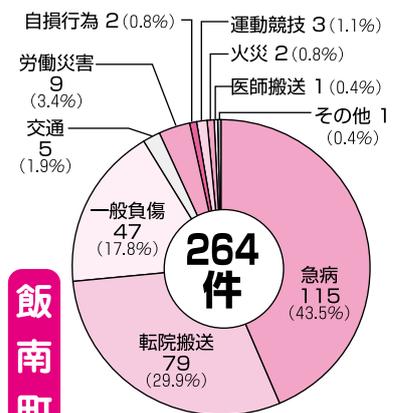
雲南市



奥出雲町



飯南町

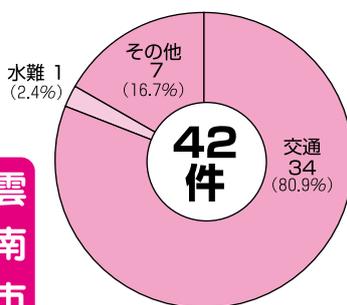


管外へ6件出場

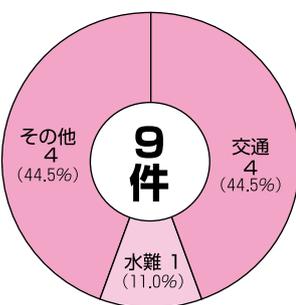
救助出動

63件 平成25年 66件

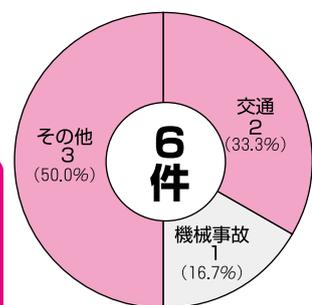
雲南市



奥出雲町



飯南町



管外へ6件出動

平成26年中の火災は35件発生し、昨年より14件の減少となりましたが、依然として枯草焼き、寄せ焼きによる火災が多く発生しています。

火災原因のほとんどが、ちょっとした不注意や油断から発生したものです。日ごろから火災予防に関心を持ち、火気の取扱いに注意することが、火災発生を防ぐこととなります。

救急出場件数は、平成25年と比べ84件減少し2149件でした。このうち、ドクターヘリの搬送は161件でした。

救助件数は、平成25年と比べ3件減少し63件でした。

たき火火災防止月間

(4月1日～4月30日)

春先は空気が乾燥し、強い風の吹く日が多いことから、火災が起こりやすい季節です。
 そのため雲南消防本部では、4月1日から4月30日までの1ヶ月間を『たき火火災防止月間』と定め、たき火や枯れ草焼きなどによる火災を防止する運動を展開しています。

○たき火や枯れ草焼きをする時は、必ず次のことを守ってください。

風の強い日の
たき火はやめましょう！



たき火が終わったら
水をかけて確実に消しましょう！



たき火をするときはバケツに
水を用意しておきましょう



燃えやすい物のそばで
たき火をしないように！



三刀屋保育所

幼年消防クラブ防火の誓い



(一財)自治総合センターが宝くじの助成金で実施したコミュニティ助成事業により、幼年消防用活動資器材の交付がありました。

11月21日(金)に雲南市立三刀屋保育所幼年消防クラブ(会長 石田礼子所長、クラブ員126名)へ幼児期の防火思想の普及啓発を目的に和太鼓10セットが交付されました。

園児たちは、楽曲「きらきらハッピーだいてこ」に合わせて迫力のある和太鼓演奏を披露しました。

今後、地域の行事や保育公開等で火災予防の音を響かせます。



園児による和太鼓演奏

もしもの時のために、普通救命講習を受講しましょう

雲南消防本部では、心肺蘇生やAEDの使い方、けがの手当など、応急手当を習得して頂けるよう、普通救命講習を毎月1回(第4日曜日)開催しています。また、職場、自治会、各種団体へ職員が出かけて講習を行いますので、ご希望の方は下記の消防署までお問い合わせ下さい。

連絡先 雲南消防署 0854-40-0119 奥出雲消防署 0854-54-2166 飯南消防署 0854-72-1201

～家族や大切な人の命を守るため、救命講習を受講して知識と技術を学びましょう～

地震が発生したら

地震はいつ発生するか分かりません。普段からどのように行動したらよいか考え、あらかじめ備えておくことが自分の身を守ることに繋がります。

- テーブルやベッドの下などに隠れて身を守る。余裕があれば、座布団などを利用して頭を保護する。



- 料理中は、可能であればすぐに火を消す。台所は食器棚や冷蔵庫が倒れてケガをしたり、コンロ上の鍋がひっくり返り火傷をする危険があるため無理はしない。



- 揺れがおさまったら、すぐにドアを開けて避難できるように逃げ道を確保する。



- 瓦、窓ガラス、看板等が落ちてくるおそれがあるので、慌てて外に飛び出さない。



家族で防災会議をしよう

月に1回程度は、家族そろって防災会議を開き、実際に地震が発生したときを想定して、災害から身を守る方法などを話し合っておきましょう。非常持出品や防災用具の点検も定期的に行う事が大切です。

家族一人ひとりの役割分担を決める

- 日常の防災対策の役割と、災害発生時の役割を決めておきます。
- 高齢者や乳幼児、妊婦等がいる家庭では、保護担当者を決めましょう。



危険箇所をチェックする

- 家の内外に危険箇所がないかどうかチェックします。
- 危ない場所は、修理や補強について話し合みましょう。



非常持出品をチェックする

- 必要な品がそろっているか確認します。
- 定期的に保存状態や賞味期限を点検し、必要なら交換します。



防災用具をチェックする

- 消火器や救急箱の置き場所を確認します。
- 消火器の使い方、応急手当の方法を覚えておきましょう。



連絡方法を確認する

- 家族が離ればなれになったときの連絡方法を話し合みましょう。
- 災害用伝言ダイヤル「171」の使用方法を確認。また災害地以外に住む親せきや知人を中継地点にして連絡をとるのも有効な手段です。



避難経路を確認する

- 地域の避難場所を確認します。避難経路は一つではなく複数決めておきましょう。
- できれば休日などを利用して家族で避難経路などの下見をしましょう。



なにか変！ それは脳卒中 かもしれない

次のテストで、ひとつでも異常があれば脳卒中の疑いがあります。

顔

歯を見せるように言う。
あるいは笑ってもらう。



正常 左右対称である



異常 左右非対称である

腕

目を閉じて手のひらを上にし、
10秒間手を挙げてもらう。



正常 両腕とも同じ
ように動く



異常 片方の腕が下がる、
もしくは挙がらない

言葉

「今日はいい天気です」
と繰り返し言ってもらう。

正常 理解可能な発言

異常 不明瞭・理解不能な発言

異常 発言なし

こんな症状があれば脳卒中の可能性がります。

- 片方の手足・顔半分のマヒ・しびれが起こる。
(※手足のみ、顔のみの場合もある)
- 力はあるのに、立てない、歩けない、ふらふらする。
- 呂律が回らない。言葉が出ない。他人の言うことが理解できない。
- 片方の目が見えない。物が二つに見える。視野の半分が欠ける。
- 経験したことのない激しい頭痛がする。

近年、脳卒中の治療法は大きく進歩しており、早期に専門病院を受診すれば、麻痺などの後遺症を軽減できる可能性が高まります。

効果的治療を
受けるには

脳卒中の症状にいち早く
気づき、ためらわず救急
車を呼びましょう。



お知らせ

平成27年度消防関係試験日程表

試験種類区分		願書受付期間・試験日		試験種類	試験場所
危険物 取扱者	第1回	受付期間	・書面申請 4/28(火)～5/12(火) ・電子申請 4/25(土)～5/9(土)	甲種	松江・出雲 大田・浜田 益田・隠岐
		試験日	6月14日(日)		
	第2回	受付期間	・書面申請 9/1(火)～9/15(火) ・電子申請 8/29(土)～9/12(土)	乙種	出雲・浜田 隠岐
		試験日	11月1日(日)		
	第3回	受付期間	・書面申請 9/1(火)～9/15(火) ・電子申請 8/29(土)～9/12(土)	丙種	松江・大田 益田
		試験日	11月8日(日)		
	第4回	受付期間	・書面申請 12/8(火)～12/22(火) ・電子申請 12/5(土)～12/19(土)	乙種	松江・出雲 浜田・益田 隠岐
		試験日	H28年2月7日(日)		
消防 設備士	第1回	受付期間	・書面申請 6/30(火)～7/14(火) ・電子申請 6/27(土)～7/11(土)	甲種	松江・浜田
		試験日	8月30日(日)		
	第2回	受付期間	・書面申請 10/13(火)～10/27(火) ・電子申請 10/10(土)～10/24(土)	乙種	松江
		試験日	12月13日(日)		

受験願書及び試験手数料払込書は、消防本部及び各消防署にあります。

詳細については、(財)消防試験研究センター島根県支部(TEL0852-27-5819)にお問い合わせ下さい。

2015

時 時間
入 入場料・参加料
問 お問い合わせ

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3月21日(土)~4月21日(火)
雲南市木次町
 メインイベントは
4月4日(土)・5日(日) 予定



雲南市 桜まつり **メインイベント:JR木次駅付近**

日本さくら名所100選「斐伊川堤防桜並木」に代表される市内の桜どころを堪能してください。

問 雲南市商工観光課
 ☎0854-40-1054



4月29日(水) 奥出雲町

船通山カタクリ登山
船通山(奥出雲町竹崎)

この時期、船通山山頂で紫色の可憐な花カタクリの群生をみることができます。



問 奥出雲観光文化協会
 ☎0854-54-2260

4月12日(日) 雲南市三刀屋町

がん封じ笹酒まつり
成覚寺(三刀屋町中野)

竹筒のまま護摩壇の炎で温められた笹酒をいただき、がん封じを祈ります。



問 成覚寺
 ☎0854-45-4800

5月3日(日) 雲南市吉田町

子安観音祭
吉田公園・本町通り・稲わら工房周辺



厳かに、賑やかに、つつじ舞うたらの里の稚児祭り。春の吉田へどうぞお越しください。

時 10:00~
問 雲南市観光協会吉田支部
 ☎0854-74-0213

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



4月15日(水) 雲南市三刀屋町

峯寺護摩供養
峯寺(三刀屋町給下)

燃え盛る炎の中に護摩木を投げ入れ、無病息災・家内安全を願う伝統行事です。



問 峯寺
 ☎0854-45-2245

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				



イベント情報

5月24日(日) 雲南市木次町

第3回 0歳から入れるおんがく会 ～音楽とことばの魔法～

チェリヴァホール2階ホール

聴くだけでなく、音楽とことばで遊ぶ参加型のイベントです！気軽にお越しください♪



前回の様子

時 開場10:00 開演10:30

入 大人700円、
子供無料、要整理券(整理券をお持ちでない場合に限り当日100円)

問 音楽の魔法制作実行委員会(チェリヴァホール内)
☎0854-42-1155

5月31日(日) 奥出雲町

要害山山開き・山城祭

要害山(雨天時は三沢公民館)



三沢小学生が手作りの甲冑をまとい、ほら貝や太鼓の音を響かせながら武者行列を披露します。

問 三沢公民館
☎0854-54-0331

6月中旬 雲南市大東町

ほたる観バス 海潮～大東地内

伝統的な神楽の舞とともに幻想的なホタルの舞を楽しんでください。

時 19時～ 参 1,000円程度

問 雲南市大東総合センター
事業管理課内
赤川ほたる保存会事務局
☎0854-43-8164



5月8日(金) 雲南市木次町

宮川サキー一人芝居 全国ツアー2015

チェリヴァホール

個性あふれるキャラクターたちを演じる一人芝居。全国ツアーの中に雲南公演が決定!

上演時間: 約1時間

入 一般 1,500円 問 チェリヴァホール
高校生以下 500円 ☎0854-42-1155
時 18:00～ / 20:00～

5月17日(日) 飯南町

ぼたんまつり2015

赤名観光ぼたん園・赤名農村環境改善センター周辺



標高約450mの飯南町では、昼夜の寒暖の差により色鮮やかなぼたんを咲かせます。

時 10:00～
問 ぼたんまつり実行委員会
(飯南町産業振興課内)
☎0854-76-2214

6月14日(日) 飯南町

第24回ポピー祭

東三瓶フラワーバレーイベント会場

家族みんなで楽しめる企画や、飯南町の美味しいものが大集結!



時 10:00～
問 ポピー祭実行委員会
(飯南町役場産業振興課内)
☎0854-76-2214



うんなんのおいしいスイーツ食べつくそう！

うんなんスイーツラリー

異なる3つのお店のスタンプを集めて、応募しよう！

全24店の
スイーツが
楽しめる！

うんなんエリア(雲南市・奥出雲町・飯南町)では、各所に花が咲き誇るこの季節、
スイーツを食べ巡りながら、スタンプを集めて賞品をGetするイベント

「うんなんスイーツラリー」を今年も開催します。

うんなん15カ所のスイーツ店と7つの道の駅で

スイーツを300円以上のお買い物をすると1つのスタンプがもらえます。

スタンプを集めて応募すると

「雲南の特産品」や「スイーツ券」「協賛店賞」などうれしい賞品が当たります。

応募用紙は、道の駅や参加店舗に置いてあります。期間は6月30日まで。

皆さん、うんなんのおいしいスイーツを食べてステキな賞品をGetしましょう。

スイーツ券
2,000円分

50名様

協賛店賞
2,000円
相当のスイーツなど

44名様

スイーツ券
500円分

100名様

雲南の特産品
各**4,000**円相当
・奥出雲和牛・仁多米

各10名様

応募方法

スイーツラリー協賛店に応募用紙が置いてあります。

うんなんスイーツラリー協賛店でスイーツを300円以上のお買い物をすると1つのスタンプが(おひとり様1店舗ごとに1つ)もらえます。

3つのスタンプを集めて応募すると、「雲南の特産品」や「スイーツ券」「協賛店賞」などが抽選で当たります！



2015

期間 **4/1**水 ⇒ **6/30**火

発行

雲南広域連合 〒699-1311 島根県雲南市木次町里方1100-6

<http://www.unnan.jp>

●総務課(総務係・財務係) TEL0854-47-7340 FAX0854-42-1911 ●総務課(企画係) TEL0854-47-7341 FAX0854-42-1911

●介護保険課 TEL0854-47-7342 FAX0854-47-7344

携帯観光サイト
「うんなんナビ」

